

自然環境や生きものに関する 小さな子どもへの学びの支援

ひとはく Kids サンデー 月の第1日曜日の小さな子どもとその家族向けの日



ひょうご エコロコプロジェクト エコロジー感覚(エコ)とふるさと意識(ロコ*)を身につけた子どもを育てるプロジェクト
*Local(地域)+Codomo(子ども)の文頭文字をとった造語



ひとはくでは、自然環境や生きものに関する学びの支援を様々な方々へ実施しています。しかし、小さな子ども(未就学児~小学3年生)向けのものが不足しがちでした。そこで、2011年に「キッズひとはく推進室」という部署を設置し、小さな子どもたちの知的好奇心を高める事業を推進してきました(現在は「Kids(キッズ)タスクフォース」が担当)。ここ数年は、Kids関連事業として、特に小さい子どもたちにも博物館を楽しんでいただけるような事業が増えてきました。ここでは、それらの事業のいくつかをご紹介します。ひとはくの小さな子どもたちへの学びの支援について述べてみたいと思います。

「ひとはくKidsサンデー」の開催

2012年度から月の第1日曜日を「ひとはくKidsサンデー」(以下、Kidsサンデー)と呼び、小さな子どもとその家族が楽しめるプログラムを実施しています。

この日には、NPO法人 人と自然の会・run♪ plaza(るんるんプラザ)など、ひとはく連携活動グループの皆さん、高校・大学のグループや他のミュージアムの方々など、いろいろな団体がプログラムを行ってくれています。また、ひとはくのプロアスタフや研究員も様々な体験型のプログラムを実施しています。研究員のプログラムでは、博物館に隣接する深田公園で生きものの採集・観察をしたり、自然素材を使った遊び



図1 未就学児の来館者数(各年度の5~9月の平均値)の経年変化

や生きものに関する工作などを行っており、小さな子どもの来館者数が年々増加しています(図1参照)。

ひょうごエコロコプロジェクトのスタート

ひとはくは、Kidsキャラバンといって、荷台部分が展示室となる移動博物館車「ゆめはく」という2トトラックで訪問する事業を行っています。それとは別に、2018年度には昆虫や植物などのテーマを決めて幼稚園や保育所、こども園などを研究員が訪問するKidsキャラバンを実施しました。それをきっかけに、2019年度からは兵庫県環境政策課と協働で、通称ひょうごエコロコプロジェクト(エコロコは造語)と呼んでいる「ふるさと兵庫こども環境体験推進事業」がスタートしました。この事業では、昆虫や植物などの専門である研究員が園を訪問し、幼児教育・保育の専門である園の先生方と一緒に園児向けに体験型のプログラム「はかせとしぜんたいけん」を行います。

このプログラムでは事前学習として、園児が日常的に使っている園庭や近くの公園、社寺の境内、田畑の畔、河川敷、車道沿いの街路などの様々な環境を、先生方と一緒に歩いていただくことがあります。その中で植物(植栽木や雑草を含む)について、先生方にも体験いただく時間を設けています。その時に、日ごろどのような植物を使った遊びをしているのかなどを聞かせることができます。このように、それぞれの環境を確認



写真1 園庭での先生向け事前学習の様子

しながら、植物の話を行うのですが、先生の中には「植物の名前を知らないの…」という理由で遊びに取り入れられていないと、おっしゃる方も多くいます。このプログラムでは、研究員が直接子どもたちに接することも大切にしていますが、それと同じくらい先生方自身に体験していただくことも重視しています。

ひょうごエコロコプロジェクトでは、「はかせとしぜんたいけん」の他に、県立公園などを使って「しぜん えんそく」、「親子プログラム」などを行っています。詳しくは、ひょうごエコロコプロジェクトのホームページ(<https://eco-loco.jp>)をご覧ください。

ひとはくのKids関連事業のこれから

ひょうごエコロコプロジェクトは、まだ始まったばかりです。これから、できるだけ多くの幼稚園や保育所、こども園などを訪問し、先生方とのより強いネットワークを構築していきたいと考えています。また同時に、Kidsサンデーのような日を活用



写真2 葉っぱのオモチャ「葉っぱぐるぐる」で遊びながらハイポーズ!



写真3 園の近くの公園で、かく斗がついたドングリを見つけて笑顔の園児



カンツバキの花弁 ドングリ(果実) ナンキンハゼの種子
シャリンバイの緑葉 タカノツメの黄葉 ソメイヨシノの紅葉

して、大学生などのボランティアの育成も行って考えています。ひとはくは、2018年度に兵庫教育大学および湊川短期大学のそれぞれの大学と連携協定を締結しました。それらの大学には、学校教育学部(幼年教育を含む)や幼児教育保育学科など、幼稚園や保育所などの先生を目指す学生がいます。それらの学生が、ひとはくや有馬富士自然学習センター(ひとはくスタッフが運営に関わっている施設)で、自然環境や生きものに関するボランティア活動を通じて、幼児や保護者との関わりを持ち、就職後の現場対応などで少しでも役立ててもらえればと願っています。

Kidsサンデーでは、「小さな子ども」の主な対象を未就学児~小学3年生と想定してプログラムを展開しています。何年か継続して実施していると、リピーターの年齢が毎年上がっていきます。来館者からは、「小学校高学年のプログラムも実施してほしい」などの意見が出てきました。これまでの「小さな子ども」よりも上の学年も対象にすることの必要性を感じています。2019年度からのKidsサンデーでは、一部ですが、小学3年生から6年生までを対象にしたプログラムも実施することになりました。今後も利用者のニーズを把握しながら、それぞれの事業を進めていきたいと考えています。

小館 誓治(自然・環境再生研究部)